２０１９年
２５１号
４月１７日（水）

ねんきん越谷

全日本年金者組合越谷支部
〒343-0845
埼玉県越谷市南越谷2-13-49
（越労連内）
TEL・FAX 048-989-2472
E-mail keyaki-n@biscuit.ocn.ne.jp

4月1日（月）、お花見日和の 花見＆誕生会

今年の花見＆誕生会は、桜の木によっては３分咲から７分咲というところで、折からの寒の戻りで開花が止まっているという感じでした。開催した４月１日（月）は午前中は快晴でしたが風が強く陽かげでは寒いくらいでしたが、会がはじまる正午ころは陽射しにもめぐまれ、いいお花見日和となりました。

やはり花見は屋外がいいです。

早朝、大野さんがブルーシートを敷いて場所取りをしてあったので、午前中に４人が自転車で買い出し、準備が整いました。

正午に足立さんの司会のもと、吉田支部長の挨拶、お忙しい中を支部のお花見＆誕生会に参加してくれた宇佐美県本部委員長の挨拶、そして最年長者の根岸さんの乾杯の音頭で会がはじまりました。

今年は差し入れが多く（詳しくは後述）、坂田ともいさんは何と段ボール４箱のお菓子とご主人が作った大量の煮物（しいたけ、こんにゃくととうもろこしをつぶして揚げたもの）をご主人の車で持ってきてくれました。おいしかったです。

しばしおいしいお酒を飲み、食べ物を味わい桜を楽しみながら歓談。あまりお酒が入らないうちに森下さんがサキソフォンで２曲演奏。新春の集いに続き連続です。

続いて参加者２８名の一言の挨拶がありました。

吉田貞夫さん、古川正治さん、田村実さんは今回誕生会初めての参加だそうです。

吉田正美さん作成の歌詞が配られ、足立さんの歌唱指導の下、全員で合唱。

最後に「沖縄を返せ」を大合唱しました。今回は大野さんが大量の「あげます」（女性用靴、下駄、茶わんなどの）を用意し希望者に手渡しました。隣で花見をしていた若い女性の３人組にもご近所ということで靴などをお裾分けです。なごやかな雰囲気の中、今月誕生月だった新井啓史さん、遊間雅之さん、高木常雄さんに誕生花を渡し、最後に全員で記念撮影。午後に天気が悪くなる前に終了しました。

寸志をいただいた中尾さん、新井（啓）さん、足立さん、宇佐美さん、差入をいただいた坂田さん、遊間さん、吉田（貞）さん、木暮さん、根岸さん、広瀬さん、飛山さん、大喜さん、飯田さん、古川さん、田村さん、伊東（正）さんありがとうございました。

次は夏の暑気払い＆誕生会でお会いしましょう。

（五十嵐）

点睛　国民健康保険税は高すぎる

消費税率の10％への値上げと、今でも高すぎる国民健康保険税がさらに値上げされるダブルパンチは国民生活を破綻させ、生活はますます苦しくなってきます。

国民健康保険の加入者は、約80％が「年金生活者」や「非正規労働者」で、加入者の所得水準が低く国民健康保険税の負担率が高いという、構造的な問題を抱えています。

国は国民健康保険税の「都道府県化」で、市区町村独自の国民健康保険税軽減の公費繰り入れや、減免措置を全部なくして計算した「標準保険料率」に合わせ、市区町村に国民健康保険税を連続・大幅値上げするよう圧力をかけています。

◆国民健康保険税が高いのは、サラリーマンなどが加入する協会けんぽや健康保険組合にはない、「均等割」が重い負担になっているからです。

「均等割」は、低所得者に一定の減額があるものの、収入がない子供も含め加入者一人ひとりに課されるため、「原始的で過酷な税とされる人頭税と同様の仕組みだ」と言われています。

◆越谷市では年収４００万円の４人家族で、年間５万３０００円増となります。全国知事会などが求めている「１兆円の公費投入」によって、サラリーマンなどが加入する健康保険料並に軽減できます。（４人家族の国民健康保険税、年間36万７０００円から、23万１０００円に軽減できる）

◆消費税増税しながら、今でも高い国民健康保険税をさらに値上げし、医療を受けられない人を増やす。社会保障のための消費税（増税）だといいながら、どこが社会保障のためか、国民をだまし討ちにするやり方です。

◆国民健康保険税を大幅に値上げする市の予算案に自民党、公明党などが賛成、「消費税は増税ストップ、国民健康保険税は値下げへ」の要求の声を広げよう！

（森　秀夫）

＜メーデー＞ 5月1日（水）サンシティー小ホール 9時30分　参加しましょう！
尚、当日門前ビラ配布／署名にご協力下さい（正面入り口9時～9時30分）